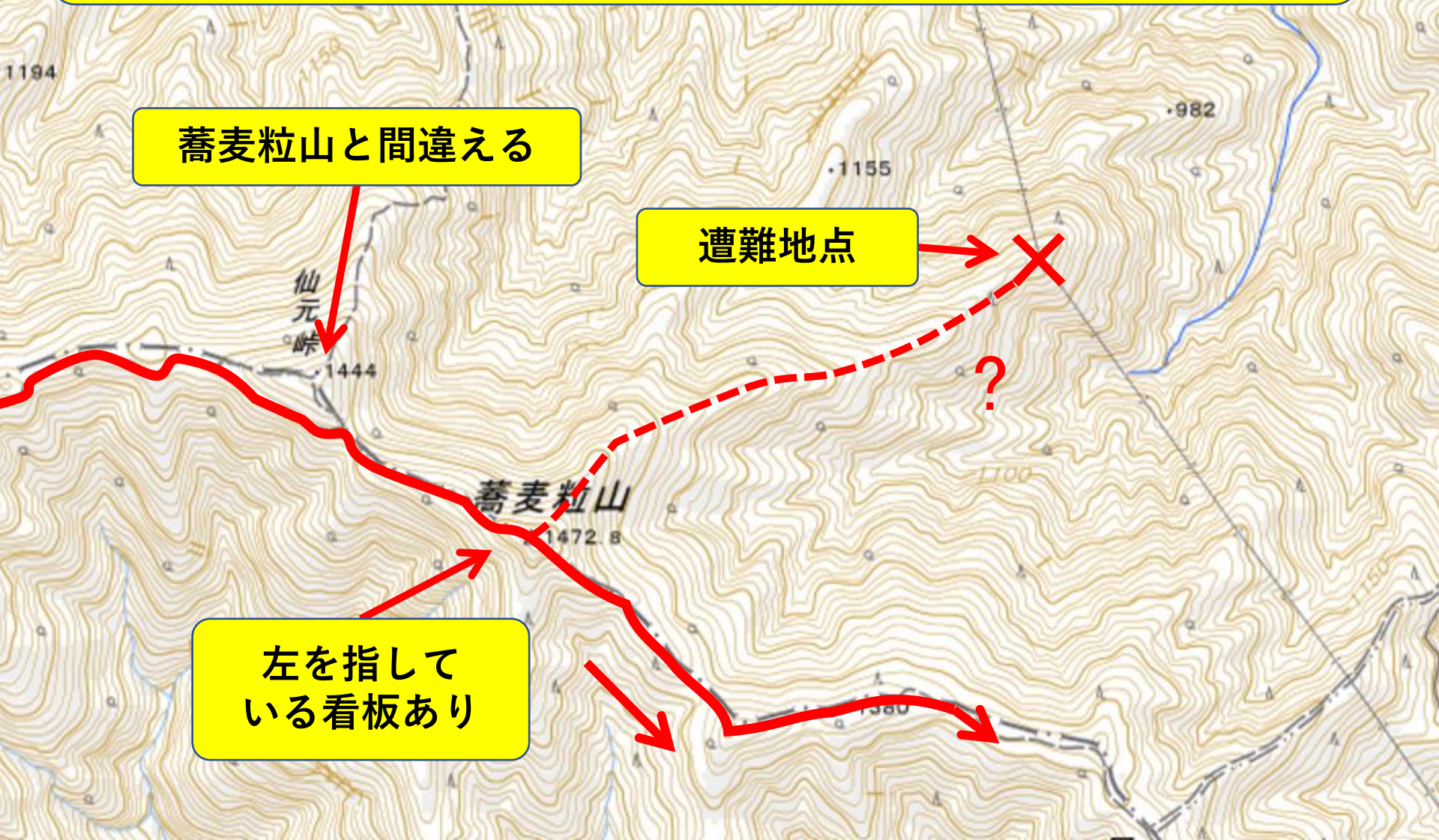


夫婦で登山。蕎麦粒山ピークと手前の1444mピークを間違えて、「左を指している看板」を下山ルートと勘違いし進む。妻がパニックで動けないため警察に救助要請し、夜遅くに救助された。

蕎麦粒山と間違える

遭難地点

左を指している看板あり



蕎麦粒山ピークと手前の1444mピークを間違えて、「左を指している看板」を下山ルートと勘違いし、そのまま蕎麦粒山から北東に延びている尾根を進む。途中でおかしいと思ったが、そのまま進んでしまった。送電線の鉄塔近くで電波が通じたためGoogleマップで現在位置を確認し道迷いを確信した。妻は、パニックになっていたため警察に電話をして救助要請し、夜遅くに救助され2時間かけて下山した。
(HP参照)

この事例で学ぶことは、

- ①コースタイムは8時間30分。出発時間が遅いため、アクシデントが発生した場合に冷静さが失われてしまった。
- ②地図とコンパスを持っていなかった。
- ③登山の経験はそれなりにあり、今まで大丈夫だったので何とかなるだろうと思った。
- ④奥多摩・秩父の山をなめていた。（本人談）
- ⑤途中でおかしいと思ったが、そのまま進んでしまった。（「道迷いは行動を止めることが難しい！」どうすれば行動を止めることができるのか？一度みなさんも考えてみよう！）